

## ヴァナキュラー（その土地独特の）建築から学ぶ デザイン・サーベイ Design Survey

1960年代70年代にかけてブーム。

画一的，均質な現代建築に対する批判。

建築研究者・建築家が地域に根ざした伝統的住居や集落，都市を訪ね歩く。  
現況を測定・図面・表・写真・文字などによって記録・分析する調査方法。  
空間と人間との多様な対応関係を読み解く・空間構成の原理・構成要素の配  
列・形態・ディテール・素材などを比較・考察。

デザイン・ポキャブラリーの豊富化

参考文献：原広司；集落への旅（岩波新書），集落の教え100（彰国社）  
藤井明；集落探訪（建築資料研究社）

### 集落空間の特性

場所性：風土・歴史・習俗がその土地と一体となっている。

自然性：自然環境条件に対する独創的な構想がみられる。

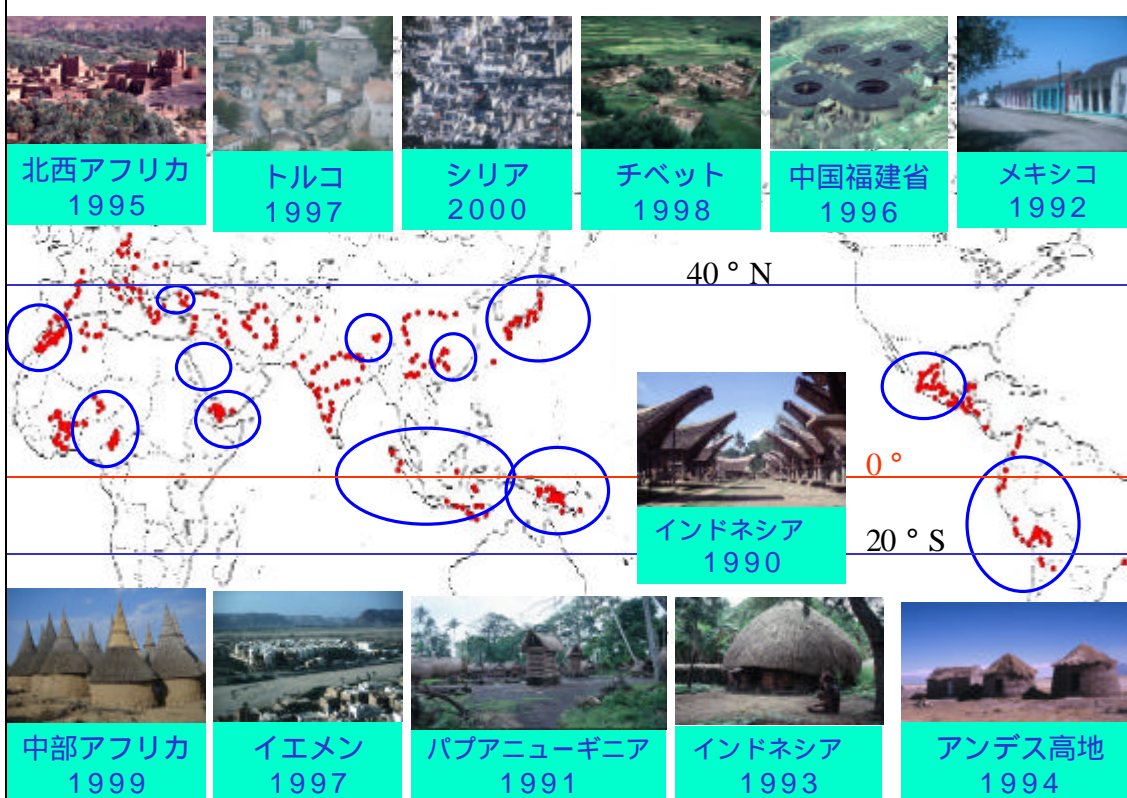
主体性：居住者自らが考え出し，改良してゆく住まい方。

共有性：共同体を維持するための仕組みが形になって，共有される。

象徴性：住人に共通な世界観が住まいに表れる．シンボルがある。

持続性：歴史的・文化的なかたちが選択されながら引き継がれる。

### 世界の伝統的住居・集落・都市調査 <1990-2000年 250箇所>



赤丸 調査地

(及川が調査に参加した地域を青で囲んでいる。それ以外は東京大学原・藤井研究室の調査地)

